

令和7年度 流山市立常盤松中学校学校経営方針 《グランドデザイン》

【学校教育目標】

自ら「学ぶ・鍛える・磨く」

「自分の考えに自信を持ち、他を思いやりながら自己実現できる生徒の育成」

～知・徳・体の調和のとれた、心身ともに逞しい生徒～



【目指す学校の姿】・・TOKICHU PRIDE（常中プライド）

- 生徒にとって…自らの成長が実感できたとき→誰もが安心して精一杯学び合える学校
- 保護者にとって…生徒の望ましい姿を見ることができたとき→信頼して子供を任せられる学校
- 教職員にとって…生徒の成長に手応えを感じたとき→生徒達を誇りにできる学校

＜目指す生徒像＞

- 自ら学び、自ら課題を解決し、自分の考えを相手に伝える生徒
- 互いに良さを認め合い、共同・協働の気持ちで学校生活を送る生徒
- 自分の心と体に関心を持ち、自分を鍛え、健康な心身をつくる生徒

確かな学力の育成《知》

- 基礎・基本の確実な定着
- 主体的・対話的で深い学びの実践
- 学習規律の徹底
- 4つの学習プロセスによる指導過程



豊かな心の育成《徳》

- 集団活動による豊かな人間関係づくり
- 感性を磨く、多様な体験活動の工夫
- 健康と命を大切にする教育の推進
- 「考え、議論する道徳」の授業実践



健やかな体の育成《体》

- 基本的生活習慣の定着
- 健康管理・安全教育の推進
- 食に関する指導の充実
- スポーツや体力づくりに親しめる指導

☆全教職員の協働による教育実践＝「チーム常盤松」

・チームワーク ・フットワーク ・ネットワーク

- 生徒理解を基盤とした学年・学級経営の推進
- 教育的ニーズに対応したインクルーシブ教育の推進
- 授業力の向上（「主体的・対話的で深い学び」の推進）

☆地域との協働による教育実践＝「オール常盤松」

- 主体的に地域活動に参加する学校づくりの推進
- コミュニティスクールを柱とする社会に開かれた教育課程の編成とカリキュラムマネジメントの推進（より良い教育環境の構築と働き方改革の推進）
- 小学校（八木北小、小山小）と連携した教育活動の充実

